

## [付録 1]

NPO 法人自然文化誌研究会 2022 年活動報告  
黒澤友彦

## Appendix 2: A Record of INCH in 2021

Tomohiko Kurosawa

2020 年度から続くコロナウイルスによる影響が大きくあり、開催を見合わせる主催事業もありました。冒険学校関連は事前に感染対策を含めたスタッフ研修会を行い、個別就寝による濃厚接触者発生の回避など体制を維持し、無事に開催することができました。

## (1) 野外環境学習事業（冒険学校・のびと講座・ログ事業）

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
5/3-5	冒険	むらまつりキャンプ	小菅村	10	
8/5-11	冒険	こすげ冒険学校	小菅村	15	
12/24-26	冒険	まふゆのキャンプ	小菅村	6	
4 月	のびと	野草のてんぷらとお茶 つみ	東京学芸大 学		中止
8 月	のびと	タイ環境学習キャンプ	タイ		中止
9 月	のびと	INCH まつり（ライブ）	小菅村		中止

## (2) ELF 環境学習中堅指導者（のびと）研修会（指導者養成事業）

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
7/2-3	ELF	のびと研修会	小菅村	20	
10/1-2	ELF	のびと研修会	小菅村	20	

## (3) 植物と人々の博物館事業

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
1 月 16 日		第 3 回自給農耕ゼミ	オンライン	9	
2 月 27 日		第 5 回環境楽習会	オンライン	18	
3 月 13 日		第 4 回自給農耕ゼミ	小金井	14	
4 月 24 日		第 6 回環境楽習会	オンライン	15	
5 月 15 日		第 5 回自給農耕ゼミ	小金井	9	
5 月 22 日		第 8 回自給農耕ゼミ	佐野川	6	
6 月 26 日		第 7 回環境楽習会	オンライン	17	
7 月 31 日		第 6 回自給農耕ゼミ	小金井	延期	

8月6～7		第9回自給農耕ゼミ、雑穀街道を巡検	佐野川	6	
8月21日		第10回自給農耕ゼミ	佐野川	中止	
8月28日		第8回環境楽習会	オンライン	13	
9月25日		第7回自給農耕ゼミ	小金井	14	
10月2日		第11回自給農耕ゼミ	佐野川	10	

## (4) 委託事業・案内など

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
11/26-27		SPB 企業研修	小菅村	13	

## (5) 広報事業

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
1/10	会報	会報ナマステ 144 号発行			200 部
3/10	会報	会報ナマステ 145 号発行			200 部
5/20	会報	会報ナマステ 146 号発行			200 部
9/10	会報	会報ナマステ 147 号発行			200 部
常時	HP	ホームページ、ブログの更新			
常時	メルマガ	植物と人々の博物館メールマガジン			

## (6) 共催事業

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
年間	共催	第 18 期ちえのわ農学校	東京学芸大学	7	

## (7) 会議・その他

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
2/19	総会	第 18 回通常総会・理事会	小菅村	25	
常時	会議	運営委員会	メーリングリスト	20	

## ●出版物

民族植物学ノオト第 15 号電子版発行

FAO 世界農業遺産趣意書 2 刷・3 刷、各 500 部印刷、配布

## ●会員（2022 年 12 月 31 日現在）

正会員：31 人、一般会員：27 人、家族会員：11 家族、学生会員：7 人、賛助会員：5 人、友の会会員 2 人、合計 83 人（前年比+7 人）

## 事務局より

コロナ禍の影響を受けましたが、若手とベテランが噛み合う良い年になったと思います。半面、未だに再開をできていない事業、停滞している事業もあります。2025 年には創設 50 年の節目を迎えるので、記念事業の話も進めていきたいところです。

## [付録 2]

### 植物と人々の博物館 2022 年の活動記録

木俣美樹男

Appendix 2: A Record of Plants and People Museum in 2022

Mikio Kimata

#### 1. 植物と人々の博物館

COVID-19 の感染拡大により休館。

- 1) 自然文化誌研究会総会にて、博物館の現状と今後の課題を確認。
- 2) ホームページの更新（西村さん）、国立国会図書館 e デポで閲覧公開
- 3) 民族植物学ノオト第 15 号電子版を発行、メールマガジン（83～94）月刊発行。
- 4) 電子書籍の発刊、『日本雑穀のむら』『第四紀植物』『雑穀の民族植物学』『環境学習原論』など。
- 5) 環境市民連合大学のウェブ公開。環境楽習会（5～8 回）、自給農耕ゼミ（小金井 3～7 回、佐野川 8～11 回）雑穀栽培法などの資料提供

#### 2. エコミュージアム日本村（トランジション小菅）

ミュージアム研究会は休止。

#### 3. 雑穀街道普及会

- 1) 雑穀栽培見本園の維持（藤野宮本、小金井木俣）、保存種子の配布普及。
- 2) 雑穀発泡酒ソビボ・ピーボ復活プロジェクト（東京学芸大学創基 150 周年記念）のために、佐野川で雑穀とホップを増殖。これは学大側の事情で中断された。
- 3) 雑穀街道普及会は FAO 世界農業遺産登録申請のための雑穀街道協議会創立を相模原市や上野原市に提案継続。
- 4) 趣意書 2 刷・3 刷、各 500 部印刷、配布。
- 5) 各種講演や原稿依頼など、
- 6) ホームページの更新、雑穀街道普及会のサイト作り

#### 4. その他

- 1) FAO 世界農業遺産登録申請のための雑穀街道協議会創立準備活動
- 2) 植物と人々の博物館の西原への移転提案。
- 3) 雑穀発泡酒造りの提案